

じて設定する。いずれも事業所の成果に応じてメリハリをつける方針。一方、特にB型は稼ごことだけを目的とした利用者ばかりとは限らない実態を踏まえ、一定の緩和策を用意する。

2018年度障害報酬改定の論点として、同日の「障害福祉サービス等報酬改定検討チーム」に示した。委員は大筋で賛同したが、B型で工賃を重視しすぎた場合を念頭に「行き場のなくなる人が出ないか心配だ」とする声も上がった。

A型、B型は現在は定員数に応じて基本報酬が区分されている。厚労省は9月13日の同検討チームで成果主義を取り入れる方針を示したが、何をもって成果を計るかは明確にしていなかった。

今回、A型については「利用者の労働時間が長いほど支援コストがかかる」との理由から、その事業所に通う利用者の平均労働時間に着目して成果を計る案を示した。サービス利用開始時に予見できない事情で短時間労働となった場合は、平均労働時間の算定から除くことを検討する。

の利益率が相対的に高い。多くのサービスで経営が悪化している背景には、前回の大幅なマイナス改定の影響が続いていることや、職員の確保に要する人件費が上がっていることなどがあるとみられる。

各介護サービスの収支差率

	28年度概況調査		29年度実態調査			28年度概況調査		29年度実態調査	
	27年度決算	28年度決算	増減	27年度決算		28年度決算	増減		
施設サービス					福祉用具	3.7%	4.5%	+0.8%	
特養	2.5%	1.6%	△0.9%	ケアマネ	△1.8%	△1.4%	+0.4%		
老健	3.2%	3.4%	+0.2%	地域密着型サービス					
療養病床	3.7%	3.3%	△0.4%	定期巡回	6.8%	4.8%	△2.0%		
居宅サービス					夜間訪問	3.6%	1.5%	△2.1%	
訪問	5.5%	4.8%	△0.7%	通所	3.2%	2.0%	△1.2%		
訪問入浴	2.7%	2.8%	+0.1%	認知症通所	6.0%	4.9%	△1.1%		
訪問看護	3.0%	3.7%	+0.7%	小多機	5.4%	5.1%	△0.3%		
訪問リハ	4.3%	3.5%	△0.8%	グルホ	3.8%	5.1%	+1.3%		
通所	7.1%	4.9%	△2.2%	特定施設	5.2%	3.2%	△2.0%		
通所リハ	4.6%	5.1%	+0.5%	特養	1.6%	0.5%	△1.1%		
短期入所	3.2%	3.8%	+0.6%	看多機	6.3%	4.6%	△1.7%		
特定施設	4.1%	2.5%	△1.6%	全サービス	3.8%	3.3%	△0.5%		

※厚労省の公表資料を基に作成。太枠が今回の「実態調査」結果

財務省は25日の審議会で、介護サービスの利益率の多寡は中小企業の平均（2.6%）と比べて判断すべきと主張。「利益率の高いサービスは適正化すべき」と改めて求め、妥協を許さない姿勢を強調してみた。

多くのサービスで収支悪化 平均利益率は3.3%

厚生労働省は26日、今年度の「介護事業経営実態調査」の結果を公表した。介護サービスの種類ごとに昨年度の利益率を探ったもの。全サービスの平均は3.3%で、一昨年度より0.5ポイント下がっていた。居宅サービスでは訪問介護、通所介護、通所リハビリテーションなど

介護ビジネス研究会のご案内

テーマ『制度改正にとられない介護経営に迫る』
※12月下旬にDMを郵送いたします。

日時:2018年1月18日(木)
13:30~16:00(受付13:15~)

会場:じゅうろくプラザ5階 小会議室①
岐阜市橋本町1-10-11

入会費:1万円

・年会費0円 ・1社2名まで参加可 ・初回参加無料

特典:①『サービス付き高齢者向け住宅開設・運営マニュアル』プレゼント!!

②ご希望の方には毎回無料個別相談を承ります。

お問合せは
コチラまで

岐阜県福祉のまちづくり推進協議会

担当:小澤

〒501-3246 関市緑ヶ丘2-5-78

TEL:0120-337-301

FAX:0575-24-5733

http://www.nodakensetsu.co.jp

mail:ozawa@nodakensetsu.co.jp

※尚、今後このようなご案内が不要な場合は、
FAX:0575-24-5733迄ご返信をお願い致します。

案内不要
(会社名をご記入ください)